

## 平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	蒙古襲来沈没船の保存・活用に関する学際研究
研究代表者	池田 栄史 (琉球大学・国際地域創造学部・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成32年度
コメント	<p>本研究は、日本史上の著名な事象である元寇の直接的な証拠となる沈没船について、今後の利用と保存の方法を確立することを目的とするものである。</p> <p>応募者らは、これまでも我が国の水中考古学を牽引してきた実績を有しており、本研究の推進によって、考古学、日本史学、文化財科学といった幅広い関連分野に豊かな学術的成果をもたらすばかりでなく、社会的波及効果にも顕著なものがあると期待できる。また、地元自治体とも既に良好な連携関係が構築されていることから、研究の継続性も認められる。</p>